

年間授業計画 様式例

高等学校(2学年用) 教科

芸術 科目 書道Ⅱ

教科: 芸術 科目: 書道Ⅱ  
 対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 8 組

単位数: 2 単位

使用教科書: (『書Ⅱ』(光村図書))

教科 芸術 の目標: 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標: 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
<p>1 学 期</p> <p>○漢字の書(篆刻)  <b>【知識及び技能】</b>                      ・漢字の書を構成するさまざまな要素について理解できるようにする。                      ・古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。                      ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けるようにする。                      ・変化や調和等による全体の構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。                      ・日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>                      ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫できるようにする。                      ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫できるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>                      ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書道Ⅰでの学習内容確認</li> <li>篆刻作品補刀、鑑賞</li> <li>書体の成立過程と歴史的背景</li> <li>書体、書風の特徴の違いについて</li> <li>古典の字形と基本用筆</li> <li>同じ書体による風趣の違いについて</li> <li>古典を生かした創作(集字、倣書)</li> <li>協働活動により理解を深める(臨書、創作)</li> <li>生活の中における文字の活用(含硬筆)</li> </ul>	○			<p><b>【知識・技能】</b>                      ・「書道Ⅰ」での既習内容の理解の上で芸術科書道での学習の目的を理解している。                      ・漢字の書を構成するさまざまな要素について理解している。                      ・古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて歴史的背景と合わせて理解している。                      ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。                      ・変化や調和等による全体の構成を生かした表現の技能を身に付けている。                      ・日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>                      ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。                      ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>                      ・今後の学習への関心・意欲を持つとともに主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18	
<p>2 学 期</p> <p>○仮名の書  <b>【知識及び技能】</b>                      ・仮名の書を構成する様々な要素について理解できるようにする。                      ・古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。                      ・古典に基づく効果的な表現を身に付けるようにする。                      ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成についての技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>                      ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫できるようにする。                      ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫できるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>                      ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。</p>			○		<p><b>【知識・技能】</b>                      ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。                      ・古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。                      ・古典に基づく効果的な表現を身に付けている。                      ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成についての技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>                      ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。                      ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>                      ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12	
<p>○漢字の書(まとめ)                      ※指導目標: 1学期の漢字の書と同様</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五書体について理解し臨書作品制作に生かす(モックアップ作品制作)</li> <li>印の活用、実践</li> </ul>	○			※評価規準: 1学期の漢字の書と同様	○	○	○	12	



年間授業計画 様式例

高等学校（2学年用）教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（光村図書 美術 1）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 彫	デ	映						
オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の鑑賞・グループワーク				○	・美術Ⅰの学習について理解したか ・教材セットを確認できたか ・主体的に鑑賞し、グループで意見を交換し、ものの見方や感じ方を深めることができるか。			○	2
「絵画：絵画デザイン」 【知識及び技能】 ・絵画の作りかた、構図を理解する。 ・モチーフの比率の取りかたができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・描画の10段階グラデーションを行い、調子や対象を表現力豊かに表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・絵画の作りかた ・モチーフの比率の取りかた ・両面紙の中心の取りかた ・紙コップの比率の取りかた ・紙コップのデザイン ・相互評価、鑑賞				○	【知識及び技能】 ・絵画の作りかた、構図を理解している。 ・モチーフの比率の取りかたを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絵画の10段階グラデーションを行い、調子や対象を表現力豊かに表している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学習に取り組む態度 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。			○	4
「絵画：静物画」 【知識及び技能】 ・形態の特質を理解し、構図に活かせるようにする。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて質的な配色や構図となるよう構想し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現となるよう主体的に発想、構想を行い、創意工夫を重ねさせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	「造形画：静物画」 ・造形の描き方道具の使いかた ・エスキース ・構図検討 ・相互評価、鑑賞				○	「絵画：静物画」 【知識及び技能】 ・形態の特質を理解し、構図に活かしている。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いをしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて質的な配色や構図となるよう構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現となるよう主体的に発想、構想を行い、創意工夫を重ねようとしている。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。			○	14
「絵画：映像メディア表現：地元のエッセンス」 【知識及び技能】 ・地元の事物や風景の良さを造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地元の造形的な良さを発想し、主題を生成し創造的に発想し構想を練ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	「地元のエッセンス」 ・個人結束などで地元の事物や風景を撮影する。 ・自然に発想し、両面紙や前掲紙の構図を練る。 ・複数の構図を構成する。 ・アクリル絵の具で絵画的に表現する。 ・相互評価、鑑賞				○	【知識及び技能】 ・地元の事物や風景の良さを造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地元の造形的な良さを発想し、主題を生成し創造的に発想し構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。			○	6
「美術館鑑賞レポート」 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 「美術館鑑賞レポート」 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き				○	「美術館鑑賞レポート」 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術館・展覧会を調べ訪れ、能動的な鑑賞によって美的経験を得ようとしている。			○	2
「絵画：映像メディア表現：風景とわたし」 【知識及び技能】 ・形態の特質を理解し、構図に活かせるようにする。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて質的な配色や構図となるよう構想し、表現できるようにする。 ・映像表現の視覚的な効果的な生かし方、見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現となるよう主体的に発想、構想を行い、創意工夫を重ねさせる。	「風景とわたし」 ・身近な風景や、あこがれの場所、世界で気になりなる場所について取材し、写真に撮影したりして、画面を構成する。 ・「わたし」を見象、抽象、記号など絵画の要素として風景に取り入れる。 ・コンセプトアートや抽象画から作風を研究し、自分の画面を構成する。				○	【知識及び技能】 ・形態の特質を理解し、構図に活かしている。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いをしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて質的な配色や構図となるよう構想し、表現している。 ・映像表現の視覚的な効果的な生かし方、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現となるよう主体的に発想、構想を行い、創意工夫を重ねようとしている。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。			○	22
「材料用具の活用」 【知識及び技能】 ・意図に応じた構図、配色が行えるようにする。 ・効果的な文字のデザイン・レイアウトができるようにする。 ・意図に応じたキャッチコピーの作成、及びその画面内での構成ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現意図の検証、発想の方法、構想の方法を活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に十分に表現するため、多方面からの探求を十分行わせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・発想、構想の展開方法 ・ヴィジュアルデザインにおける効果的な構成、配色の方法 ・デザインにおける文字の扱い方 ・材料用具（アクリルガッシュ）の取り扱い方				○	【知識・技能】 ・効果的な構成、配色がなされている。 ・効果的なキャッチコピーが、的確にデザインで画面内に挿入されている。 ・材料用具の特性を理解し、適切な取り扱いができています。 【思考・判断力・表現力】 ・明確な表現意図が設定され、それが効果的に明確な表現へと結実し、繰り上げられています。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現への探求に関する自発的な言及、プレゼンテーションをしようとしている。 ・講評会において、友達作品の多様な表現への理解が深めようとしている。			○	20
合計										70

高等学校（第2学年用）

教科 地理歴史科

科目

世界史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 2, 6, 7, 8 組

使用教科書：（『詳説世界史 世界史探究』（山川出版社））

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

科目 世界史探究 の目標：生徒の主体的な学びを軸に、現代社会の諸事情につながる歴史の流れを理解する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>A 諸地域の歴史的特質の形成</b> <b>【知識及び技能】</b> 今日社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	・世界史へのまなざし1 ・世界史へのまなざし2 <b>【教材等】</b> ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	<b>【知識・技能】</b> 今日社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
<b>1 章 文明の成立と古代文明の特質</b> <b>【知識・技能】</b> 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	1 章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 <b>【教材等】</b> ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	<b>【知識・技能】</b> 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けているか。 <b>【思考・判断・表現】</b> 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p><b>2章中央ユーラシアと東アジア世界</b></p> <p>【知識・技能】 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活や、周辺の諸勢力との関係や、中国史との関連の中で理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 風土を示す写真や資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアの動向あは東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>2章中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を、中国史との関連の中で理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアの動向あは東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
	<p><b>3章南アジア世界と東南アジア世界の展開</b></p> <p>【知識・技能】 南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響や南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのか理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 インド洋航海図（地図）や資料をもとに、インド洋交易の広がりや、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教や東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p> <p>定期考査</p>	<p>3章南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響や南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのか理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』等の資料をもとに、インド洋交易の広がりや、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教や東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p><b>4章西アジアと地中海周辺の国家形成</b></p> <p>【知識・技能】 イラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのか、ギリシア世界と民主政の発展、古代ローマ世界の形成過程と特長、キリスト教について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教の特徴等について多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>4章西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海世界 4 キリスト教の成立と発展</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 イラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのか、ギリシア世界と民主政の発展、古代ローマ世界の形成過程と特長、キリスト教について理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教の特徴等について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p><b>5章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</b></p> <p>【知識・技能】 イスラームの成立と世界の特質について、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形成したのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響とヨーロッパの封建制の特質について多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p> <p>定期考査</p>	<p>5章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 イスラームの成立と世界の特質について、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響とヨーロッパの封建制の特質について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
			○	○			

2 学 期	<p>B 諸地域の興隆・再編 6章イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割や、外圧が西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラームの伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>6章イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割や、外圧が西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラームの伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	22
	<p>7章ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識・技能】 中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、文化とその特徴について、従来との比較をふまえて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図資料をもとに、中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、十字軍とその意義、文化とその特徴について、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>7章ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパ中世文化</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、文化とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 図資料をもとに、中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、十字軍とその意義、文化とその特徴について、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>【知識・技能】 10～12世紀のアジア諸国の動向、モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアやモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 10～12世紀のアジア諸国の動向、モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアやモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>9章大交易・大交流の時代</p> <p>【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアや、ヨーロッパの海洋進出はどのような意義があったのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流や、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響について、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界やヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>9章大交易・大交流の時代</p> <p>1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアや、ヨーロッパの海洋進出はどのような意義があったのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流や、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響について、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界やヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10

3 学 期	<p>1 0 章アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>【知識・技能】 オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の隆盛と清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したり、ムガル帝国とその衰退が南アジアに与えた影響を考察したり、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 西アジア・南アジア・清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>1 0 章アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>1 0 章アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校（2 学年用） 教科

公民

科目

公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『詳述公共』（実教出版））

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】社会を担う公民として必要な、政治経済、倫理に関わる知識・技能を身に着ける

【思考力、判断力、表現力等】多角的・多面的な思考力、公正な判断力、考えたことを論理的に表現できる力を身に着ける

【学びに向かう力、人間性等】現代社会の諸問題を深く洞察し、主体的に解決に向かう力を身に着ける

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
倫理分野、政治分野、経済分野をバランスよく幅広く学び、社会の一員として社会参加するために必要な知識・技能を身に着ける。	現代のグローバル社会で求められる多角的・多面的な思考力、偏りのない公正な判断力、自分の考えを論理的に表す表現力を身に着ける。	社会を担う一員として積極的に社会の諸問題に対処し、解決法を他者と連帯・協働して考えられる力を身に着ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「青年期の意義、発達課題」について自らの問題として考えるための知識を得る。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・青年期特有の課題、心理学的特徴について理解し、公正に判断し、自分の考えを表現できる力をつける。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・自らの問題として、青年期の特徴、社会における青年期の意義等を捉え、主体的に課題に取り組む力を身に着ける。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯における青年期の意義</li> <li>・青年期と自己形成の課題</li> <li>・日本の伝統文化と日本人の倫理観</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容を正しく理解できているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断したことを論理的に表現できているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を構成する一員として、主体的に物事をとらえ、課題解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	10
	定期考査						
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「源流思想」について自らの問題として考えるための知識を得る。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・源流思想の特徴について理解し、公正に判断し、自分の考えを表現できる力をつける。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・自らの問題として、源流思想が現代に与える影響について捉え、主体的に課題に取り組む力を身に着ける。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギリシアの思想</li> <li>・宗教の教え</li> <li>・人間の尊重</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容を正しく理解できているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断したことを論理的に表現できているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を構成する一員として、主体的に物事をとらえ、課題解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	15
定期考査							
2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主社会の倫理、民主主義の発展について自らの問題として捉えるための知識を得る。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・民主主義の成り立ち、意義について理解し、公正に判断し、自分の考えを表現できる力をつける。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・自らの問題として、民主主義社会について捉え、主体的に課題に取り組む力を身に着ける</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主社会の倫理</li> <li>・民主国家における基本原理</li> <li>・日本国憲法の基本的性格</li> <li>・日本の政治機構と社会参加</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断したことを論理的に表現できているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を構成する一員として、主体的に物事をとらえ、課題解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	15
	定期考査						
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済社会、経済活動のあり方と国民福祉について自らの問題として捉えるための知識を身に着ける。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・資本主義経済の成り立ち、意義について理解し、公正に判断し、自分の考えを表現できる力をつける。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・自らの問題として、経済活動について捉え、主体的に課題に取り組む力を身に着ける</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済社会</li> <li>・経済活動のあり方と国民福祉</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断したことを論理的に表現できているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を構成する一員として、主体的に物事をとらえ、課題解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	15
定期考査							

3 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際政治、国際経済の諸問題について自らの問題として捉えるための知識を身に着ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会における政治と法、国際平和、国際経済のしくみについて理解し、公正に判断し、自分の考えを表現できる力をつける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの問題として、国際政治、国際経済の諸課題について捉え、主体的に課題に取り組む力を身に着ける。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際政治の動向と課題</li> <li>・国際経済の動向と課題</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断したことを論理的に表現できているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を構成する一員として、主体的に物事をとらえ、課題解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	15	
	定期考査							
								合計 70

# 高等学校（2学年） 教科

# 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎  
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書：（『家基002-901家庭基礎』（東京書籍））

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、生活に関わる様々な事柄に対して自分のこととして考え、実践していくことができる。

【学びに向かう力、人間性等】 生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>自分らしい生き方</b> ・青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解し、自覚できるようにする。 ・生活設計の方法と生活資源の重要性について理解する。 ・人生を考えるためには経済設計が重要であることを理解する。	<b>自分らしい生き方</b> ・青年期の生き方について自立の観点から学習する。 ・自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。 ・生活にはどのような場面で金銭が必要となるか考える。	【知識及び技能】 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立へむけて課題を発見し、自身の将来について思考・判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己分析し自分の生き方について考える。	○	○	○	4
<b>消費行動を考える</b> ・問題商法や、被害にあった場合の解決方法について理解する。 ・さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを理解する。 ・消費者の権利と責任について理解する。	<b>消費行動を考える</b> ・多様な販売方法や、問題商法の種類と対処法について学習する。 ・多様化している支払い方法や多重債務の予防と対処について学習する。 ・近年の消費者問題を学び、問題解決のための消費者運動や消費関連の法律を学習する。	【知識及び技能】 ・クレジットやローンなどの消費者信用を前提とした支払い方法のしくみを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に対して早期に解決するための方法について思考・判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習に基づいた行動をとることができる。	○	○	○	4
定期考査	なし					
<b>衣生活をつくる</b> ・人と衣服のかかわりについて、その背景や風土などを考えながら理解する。 ・衣服の機能を理解する。 ・衣類の製造には、多くのエネルギーが使われていることを知る。 ・私たちの衣生活が世界規模で営まれていることを理解できる。 ・衣生活と環境のかかわりを考え、環境に配慮した衣生活を営めるようになる。 ・衣生活が国際化する中、問題点を把握し、自分の行動を見直す。	<b>衣生活をつくる</b> ・人と衣服のかかわりや、衣服の機能について学習する。 ・快適で安全な衣服について学習する。 ・衣類素材の性能や加工・改善について学習する。 ・衣服の入手から処分までの流れを学習する。 ・衣服の表示を見ながら、衣服購入のポイントについて考える。 ・衣生活と資源・環境とのかかわり、また、環境に配慮した衣生活について学習する。 ・ファストファッションについて、事例を挙げながら話し合い、商品選択の際に心がけることを考える。	【知識及び技能】 ・衣服が着用されるようになった説について、その背景や風土などを考えながら理解できる。 ・自然環境と衣服のかかわり、社会環境と衣服の関係から、衣服が持つ機能を理解することができる。 ・修繕に必要な基礎縫いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ファストファッションの問題点を把握し、自分の行動を見直すことができる。 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。	○	○	○	8
定期考査	定期考査	定期考査				2
<b>経済的に自立する</b> ・家計の構成や、収入と支出の特徴を理解する。 ・給与明細の見方を学習し給与の使い方をシミュレーションする。 ・生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。	<b>経済的に自立する</b> ・家計の構成（収入・支出）を学習する。 ・現代の家計の特徴について学習する。 ・ライフイベントや生活のリスクなどに備えた、生涯を見通した経済計画と管理について学習する。 ・家計と国民経済・国際経済のつながりについて学習する。	【知識及び技能】 ・家計の構成がわかる。 ・収入と支出の種類と特徴がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・給与の使い方をシミュレーションし、思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組み実践していくこととする	○	○	○	2

	<b>衣生活をつくる</b> ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法について理解する。	<b>衣生活をつくる</b> ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法について理解するための実習を行う。	<b>【知識及び技能】</b> ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法がわかる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法が実践できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・グループ活動や被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	<b>子どもとかがわる</b> ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を理解する。 ・子どもには独特の世界があることを理解する。 ・発達には人とのかかわりやふれあいなど、豊かな経験が必要なことを理解する。 ・すこやかな成長には生活習慣の形成や健康管理、安全対策が重要であることを理解する。 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・遊びの影響や種類を理解する。 ・子どもを生き育てる意義について理解する。 ・子どもの人間形成における家庭の重要性を理解する。 ・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 ・子どもには、すこやかに育つ権利があることを理解する。	<b>子どもとかがわる</b> ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を学ぶ。 ・発達の順序や子どもの世界観を学ぶ。 ・人の発達において、保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを考える。 ・子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや、子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活について学ぶ。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にどのような影響を及ぼすのかを考える。 ・子どもの遊びが豊かになるにはどうしたらいいか考える。 ・子どもを生き育てる意義と人間形成の過程について考える。 ・これからの親子関係について、事例をもとに考える。 ・子育てにおける社会環境について考える。 ・子育ての環境について考える。 ・子どもの権利や福祉について学習し、社会的問題について考える。	<b>【知識及び技能】</b> ・誕生から幼児期までの子どものからだや運動機能、知的発達について理解する。 ・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることが理解できる。 ・人の発達において、保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを理解できる。 ・社会性が育っていく過程について理解する。 ・子どもの遊びの重要性について理解する。 ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 ・子どもがすこやかに育つための社会的な環境整備について理解できる。 ・子どもの福祉について理解できる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 ・自分の現在・将来と結びつけながら、考え、学習することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えようとしている。 ・グループ学習で積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査	なし					
2 学期	<b>食生活をつくる</b> ・現代の食生活の傾向を理解し、健康的な食生活の必要性に気づく。 ・栄養とからだのつながりを理解する。 ・栄養素と水のはたらきを理解する。 ・五大栄養素の働き、それぞれの五大栄養素を多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身につける。 ・甘味料・塩味料・酸味料・うま味料、香辛料等の種類について理解する。 ・コーヒーなどの嗜好食品、菓子などの食品、加工食品の種類と特徴について理解する。 ・食品の旬や食品を選択する際に必要な品質表示の見方、また、選択する際のポイントがわかり、食品を適切に選択することをできるようにする。 ・特別用途食品や保健機能食品等についての種類と特徴、表示などについて理解する。 ・私たちの食生活が世界とつながっていることを認識する。 ・調理の流れ、調理操作を理解し、調理技術を習得する。	<b>食生活をつくる</b> ・食生活と健康のかかわり、現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・五大栄養素と水について学習し、からだとのつながりについて考える。 ・五大栄養素の働きと、五大栄養素それぞれを多く含む食品について学ぶ。 ・味に大きな影響を及ぼす調味料や香辛料、さまざまな加工食品について学ぶ。 ・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について学ぶ。 ・普段食べている食品がどこで生産されているのかを考え、日本の食料自給率の低さからくる問題点等について学ぶ。また、食の安全にかかわる問題についても学習する。 ・安全なものを食べるための取り組み、環境への取り組みを学ぶ。 ・未来の食卓を考え話し合う。 ・調理の一連の流れを実践し、その理論やコツを学習する。	<b>【知識及び技能】</b> ・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 ・五大栄養素と水についての人のからだの中での働き、また、人のからだの成分についての基礎的知識を習得できる。 ・五大栄養素の働き、それぞれの五大栄養素を多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身につけることができる。 ・調味料、香辛料、嗜好食品の種類と特徴について理解できる。 ・特別用途食品や保健機能食品等の種類と特徴、表示などについて理解できる。 ・日本の食料自給率についてや輸入食品に頼っている現状・課題について理解できる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・食品と栄養、調理との関係において科学的な視点をもって知識を深めようとしている。 ・災害食について理解し、実践しようとしている。 ・調理実習において、作業の流れを考え、効率的に判断しながらとりくむことができる。 ・調理実習においては、積極的に参加しようとしている。後片付けまできちんと行っている。 ・食事マナーを身につけ、楽しく食事することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査	定期考査	定期考査				1
	<b>住生活をつくる</b> ・自然災害や人為的な災害と対策について理解する。 ・家庭内事故と安全な住まい環境について理解する。 ・平面表示記号を理解している。 ・生活行為と住居、ライフスタイルと住まいの関係などを深く理解し、将来に向けて知識を活用し、自分の考える理想の住宅について考えられる。	<b>住生活をつくる</b> ・自然災害や人為的な災害と対策について学ぶ。 ・家庭内事故と安全な住まい環境について考える。 ・平面表示記号がわかる。 ・生活行為と住居、ライフスタイルと住まいの関係などを深く理解し、将来に向けて知識を活用し、自分の考える理想の住宅について考えられる。	<b>【知識及び技能】</b> ・災害とその対策について理解できる。 ・安全な住まいづくりや住環境について理解できる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・防災・減災対策について考えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・防災・減災対策を実践することができる。	○	○	○	1

3 学 期	<p><b>食生活をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事摂取基準を理解し、何をどれくらい食べるのかを理解する。</li> <li>・実際にバランスのよい食事計画につなげることができるようにする。</li> <li>・食品群別摂取量のめやす、食事バランスガイドを、生活の中で使い分けることができるようにする。</li> <li>・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを考慮しながら、家族や状況にあわせて献立を作成できるようにする。</li> </ul>	<p><b>食生活をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活を営むためにどのような栄養素がどれくらい必要なかを学ぶ。</li> <li>・食品群別摂取量のめやす、食事バランスガイドを見ながら、何をどれだけ食べればよいのかを考える。</li> <li>・献立作成のポイントや、ライフステージを考えた献立作成を学ぶ。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事摂取基準と食品群別摂取量を理解し、実際にバランスのよい食事計画につなげることができる。</li> <li>・ライフステージと栄養の関係、献立作成時のポイントを理解できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを利用しながら、実際の生活において家族のライフステージも考えながら献立を作成することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの中で積極的に活動し、意見を交換することができる。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p><b>高齢者とかかわる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会の現状を理解するとともに、高齢者への理解を深める。</li> <li>・高齢者の介護について、介護される高齢者も介護する者も対等な関係にあることを認識する。</li> <li>・介護保険制度のしくみやサービスの内容などを理解する。</li> </ul>	<p><b>高齢者とかかわる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者とかかわることの意義、高齢社会の現状と課題について学習する。</li> <li>・高齢者を支えるための心持について考える。</li> <li>・介護保険制度について学習する。</li> <li>・これからの介護と課題について、事例を用いて考える。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の高齢社会、高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期の過ごし方について自身や家族のことと結びつけながら考えようとしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分事として積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	○	○	○	4
	定期考査	定期考査	定期考査				1
	<p><b>社会とかかわる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉、ソーシャル・インクルージョンの考え方を学ぶ。</li> <li>・自助、互助、共助、公助の状況に応じたバランスを考える。</li> <li>・社会保障制度とその目的について学ぶ。</li> </ul>	<p><b>社会とかかわる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の考え方を理解する。</li> <li>・社会保障制度は行政を介した助け合いであることを理解する。</li> <li>・地域福祉とそれらの課題に関心を持ち、活動に参画する姿勢を養う。</li> <li>・ボランティア活動に興味・関心を持てるようになり、実際の活動につなげる。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉やインクルージョンの意味・考え方や支えあう社会づくりの重要性を理解できる</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることは何かを考える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の一員としての自覚を持ち、興味・関心を持って、積極的に活動している。</li> </ul>	○	○	○	3
						合計	
						60	

高等学校（第2学年用）

教科 地理歴史科

科目

日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 3・4・5・7 組

使用教科書：（『日本史探究 詳説日本史』（山川出版社））

教科 地理歴史科

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義を、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原始社会の特色を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原始・古代の特色を多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	【知識及び技能】 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色を多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷 第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	【知識及び技能】 ・国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代の国家・社会の変容を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	【知識及び技能】 ・律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・古代から中世への時代の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代から中世への変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料を通じて読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	【知識及び技能】 ・貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の展開を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代から中世への変容を多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通じて読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができたか。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1	

	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・中世社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<p>第6章 武家政権の成立</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 鎌倉幕府の成立</li> <li>2 武士の社会</li> <li>3 モンゴル襲来と幕府の衰退</li> <li>4 鎌倉文化</li> </ol>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解することができたか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・中世社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・中世の国家・社会の変容を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<p>第7章 武家社会の成長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 室町幕府の成立</li> <li>2 幕府の衰退と庶民の台頭</li> <li>3 室町文化</li> <li>4 戦国大名の登場</li> </ol>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解することができたか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</li> </ul>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世から近世への時代の転換を理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・中世から近世への変容を多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<p>第8章 近世の幕開け</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 織豊政権</li> <li>2 桃山文化</li> </ol>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解することができたか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・中世から近世への変容を多面的・多角的に考察し、表現することができたか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができたか。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕藩体制の確立の特色を理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・近世社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幕藩体制の成立</li> <li>2 幕藩社会の構造</li> <li>3 幕政の安定</li> </ol>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立の特色を理解することができたか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・近世社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</li> </ul>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近世の社会・文化の特色を理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・近世の国家・社会の展開を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 経済の発展</li> <li>5 元禄文化</li> </ol> <p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幕政の改革</li> <li>2 宝暦・天明期の文化</li> </ol>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支配秩序の形成と身分制、技術の向上と開発の進展、産業の発達、学問・文化の発展を基に、近世の社会・文化の特色を理解することができたか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・近世の国家・社会の展開を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できたか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。</li> </ul>	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
2学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・近世への変容を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 幕府の衰退と近代への道</li> <li>4 化政文化</li> </ol>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解することができたか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できたか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。</li> </ul>	○	○	○	6

<p>【知識及び技能】 ・近世から近代への時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目し、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。</p>	<p>第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足</p>	<p>【知識及び技能】 ・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができたか。</p>	○	○	○	5
<p>【知識及び技能】 ・日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本が近代国家へ移行する過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立</p>	<p>【知識及び技能】 ・明治維新、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本が近代国家へ移行する過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】 ・国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係</p>	<p>【知識及び技能】 ・国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】 ・国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化</p>	<p>【知識及び技能】 ・国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成を理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 ・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦</p>	<p>【知識及び技能】 ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。</p>	○	○	○	6

<b>子 期</b>	<b>【知識及び技能】</b> ・我が国の再出発及び国民生活の変容を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	<b>【知識及び技能】</b> ・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及び国民生活の変容を理解することができたか。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	<b>【知識及び技能】</b> ・政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	<b>【知識及び技能】</b> ・アジア諸国との関係、高度経済成長などを基に、政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解することができたか。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。	○	○	○	3 合計 105

年間授業計画 新様式例

高等学校（2学年用）教科

芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（『高校生の音楽2』（教育芸術社））

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	曲にふさわしい発声や奏法 【知識及び技能】 曲想と奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想と奏法との関わりについて関心を持ち、曲にふさわしい奏法について考え、演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・歌唱 【教材】 ・校歌 ・糸 ・Born This Way ・一人1台端末	○	○			【知識及び技能】 曲想と奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想と奏法との関わりについて関心を持ち、曲にふさわしい奏法について考え、演奏する活動に主体的に取り組もうとしている。	○		○	11
	ヨーロッパの音楽 【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めるとともに、旋律をつくり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくり出す技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴く活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・西洋音楽史 ・創作 【教材】 ・楽譜制作ソフト「Flat」 ・一人1台端末			○	○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めるとともに、旋律をつくり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくり出す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。	○		○	8
	アンサンブル 【知識及び技能】 様々な表現形態による表現の固有性や多様性について理解し、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現形態による表現の固有性や多様性について関心を持ち、演奏形態の特徴表現上の効果について考え、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・打楽器 ・ギター 【教材】 ・クラッピングカルテット ・Stand By Me ・一人1台端末			○		【知識及び技能】 様々な表現形態による表現の固有性や多様性について理解し、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現形態による表現の固有性や多様性について関心を持ち、演奏形態の特徴表現上の効果について考え、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組もうとしている。	○		○	7
	様々な音楽とその歴史 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、個性豊かに表現を創意工夫できる。	【指導項目】 ・ミュージカル ・20世紀の音楽 【教材】 ・レ・ミゼラブル ・カントリーロード ・一人1台端末	○	○		様々な音楽とその歴史 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫できる。	○		○	10	



# 高等学校（2 学年用） 教科

# 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A  
 対象学年組： 第 2 学年 7 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書：（ 『NEXT数学A』（ 数研出版 ） ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学的に活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。	図形の構成要素の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察し、不確実な事象に着目し、事象を数学的に判断する力、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合に関する基本的な関係や法則、原則について理解すること。 ・順列の総数や組み合わせの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的法則について理解し、様々な事象の確率、期待値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造、確率の法則や性質に着目し、場合の数や確率を多面的に求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察する良さを認識し問題解決に活用しようとしたり、粘り強く考えたりする。	指導事項 ・場合の数 ・確率	【知識及び技能】 ・順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。 ・いろいろな場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげる方法を見だし、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。 ・確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとする。また、反復試行や条件付き確率の考え方について関心をもつ。	○	○	○	25
	定期考査						1
	定期考査						1
2 学 期	図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既習の図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出したり、考察したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察する良さを認識し問題解決に活用しようとしたり、粘り強く考えたりする。	指導事項 ・三角形の性質 ・円の性質 ・空間図形	【知識及び技能】 ・三角形の性質、円の性質を用いているいろいろな線分の比や長さ、角度を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形に関する定理、性質の証明を通じて考察することができる。 ・空間図形について、直線や平面の位置関係を答えたり、2直線や2平面のなす角を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平面図形の性質に興味・関心を持ち、三角形の性質を利用しようとする。 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて解決しようとする。	○	○	○	25
	定期考査						1
	定期考査						1
3 学 期	数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・図形や数量に関する概念と人間の活動との関わりについて理解すること。 ・数学史的な話題、数理的なパズルなどを通じて数学と文化との関わりについて理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数量や図形に関する概念などの関心から発展し考察すること。 ・パズルなどに数学的な要素を見出し、目的に応じて数学的活用を考察できること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間活動における数学のよさを認識し問題解決に活用しようとしたり、粘り強く考えたりする。	指導事項 ・数と人間の活動 ・図形と人間の活動 ・遊びの中の数学	【知識及び技能】 ・相似や三平方の定理の性質を理解し、適切に用いることができる。 ・互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・素数や約数についての考え方や素因数分解を活用して、整数の性質を考察することができる。 ・除法における商と余りを活用して、整数の約数を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数と人間の活動のかかわりについて関心を持ち、調べようとする。 ・図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて関心を持つ。	○	○	○	15
	定期考査						
	定期考査						

定期考査					1
					合計
					70

高等学校（第2学年用）

教科 数学

科目

数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『NEXT 数学Ⅱ』（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】数学的を活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
色々な式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えについて基本的な概念、原理、法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。	色々な式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えから事象を的確に表現、考察し、問題解決を図ろうとする。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、数学的な根拠をもって判断しようとする態度を身に付けるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	式と証明 【知識及び技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解を理解し、式の展開や因数分解をできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算方法をすでに学習した計算と関連付け多面的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を式と証明の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考えたりすること。	指導事項 ・3次式の展開、因数分解 ・二項定理 ・多項式の割り算、分数式 ・恒等式、等式、不等式の証明 ・複素数とその計算 ・2次方程式の解と係数の関係 ・高次方程式 教材 ・教科書 ・問題集 ・プリント	【知識・技能】 ・整式の除法、分数式の四則計算、複素数の四則計算などを定義にしたがって処理することができる。 ・2次方程式や高次方程式の解を適切な方法にしたがって処理を行い求めることができる。  【思考・判断・表現】 ・等式や不等式が成り立つことを代数的な考え方にしたがって数学的に処理し、考察することができる。 ・数の拡張という考え方に沿って自然に複素数にまで拡張し、複素数の範囲で、2次方程式を数学的に再処理し解の概念を発展させることおよび高次方程式を低次の方程式の積に分解して解を求めるといった数学的な考察ができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・整式や分数式の性質を利用して、等式や不等式が成り立つことを証明することに関心をもつ。 ・数の範囲を複素数まで拡張して、2次方程式や高次方程式を解くことに関心をもち、それらを活用しようとする。	○	○	○	25	
	複素数と方程式 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象を数学的に捉え方程式を問題解決に利用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を複素数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考えたりすること。				○	○	○	1
	定期考査				○	○	○	1
	図形と方程式 【知識及び技能】 ・座標平面上の直線や円を方程式で表せるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・座標平面上の図形について、それを方程式を用いて表現し、性質や位置関係について考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考えたりすること。	指導事項 ・角の拡張 ・三角関数のグラフ、性質、応用 ・加法定理とその応用 教材 ・教科書 ・問題集 ・プリント	【知識・技能】 ・三角関数のグラフを表すことができ、またその性質を利用して問題を処理することができる。 ・三角関数の性質やグラフの特徴を理解している。  【思考・判断・表現】 ・三角比の拡張を通して、三角関数を論理的に考えることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・角を一般角に拡張して、「数学Ⅰ」で学習した三角比を発展させて考えようとする。	○	○	○	25	
	定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	<p>三角関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角の概念を一般角まで拡張し弧度法による角度の表し方を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を三角関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角の拡張</li> <li>・三角関数のグラフ、性質、応用</li> <li>・加法定理とその応用</li> </ul> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・問題集</li> <li>・プリント</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数のグラフを表すことができ、またその性質を利用して問題を処理することができる。</li> <li>・三角関数の性質やグラフの特徴を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比の拡張を通して、三角関数を論理的に考えることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角を一般角に拡張して、「数学Ⅰ」で学習した三角比を発展させて考えようとする。</li> </ul>	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	1
	<p>指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数の範囲を拡張し、指数法則や指数関数のグラフの特徴について理解すること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数関数と対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を指数、対数関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数の拡張、指数関数</li> <li>・対数の性質、対数関数</li> <li>・常用対数</li> </ul> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・問題集</li> <li>・プリント</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数関数・対数関数のグラフを表すことができ、その性質を利用して問題を処理することができる。</li> <li>・指数関数・対数関数の性質やグラフの特徴を理解している。また指数関数や対数関数がどのような場面に活用されているかについての知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・累乗の拡張を通して、指数関数、対数関数を論理的に考えることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数の累乗を拡張させて指数関数を、またその逆として対数関数を考えようとする。</li> </ul>	○	○	○	25
定期考査							
3 学 期	<p>微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数、導関数の意味について理解し、極限を調べ、グラフの概形を書くことができる。</li> <li>・不定積分、定積分の意味を理解し、値や原始関数を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数と導関数との関係について考察すること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を微分・積分の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数、導関数</li> <li>・接線の方程式</li> <li>・関数の増減、極大・極小、グラフの応用</li> <li>・不定積分、定積分</li> <li>・面積</li> </ul> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・問題集</li> <li>・プリント</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微分や積分を記号を用いて表すことができ、公式を利用し処理することができる。</li> <li>・微分係数や導関数および不定積分、定積分の意味を理解している。また定積分と面積の関係を理解し、面積の求め方の知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数や導関数についての数学的な見方を身に付け、具体的な事象を考察することができる。また、面積の意味を考え、定積分の利用について考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数の変化やその割合について関心を持ち、調べようとする。さらに微分係数、導関数の導入について関心を示す。</li> <li>・微分の逆演算としての不定積分に関心を示し、面積を求める際に定積分を活用しようとする。</li> </ul>				30
	定期考査						1 合計 140



高等学校（2学年用）教科

教科：理科 科目：  
対象学年組：第 2 学年 1 組～

理科 科目 化学(理系必選)

単位数： 4 単位

使用教科書：（『高等学校 化学』（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 化学(理系必選) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
<p>【知識及び技能】ダニエル電池や鉛蓄電池、燃料電池等の構造や反応を知り、電池のしくみを理解することができるようにさせる。鉛板と硫酸、乾電池を用いて、鉛蓄電池の仕組みを調べることができるようにさせる。電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを考えることができるようにさせる。また、ダニエル電池や代表的な電池の反応について考えることができるようにさせる。外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解させる。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学エネルギーを電気エネルギーとして取り出したり、外部から加えた電気エネルギーによって化学反応が起こったりさせる原理について調べようとする。実用一次電池と実用二次電池の例とその仕組みについて調べようとする。電気分解の工業的利用について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<p>第2節 電池・電気分解</p> <p>1. 電池</p> <p>2. 電気分解</p> <p>3. 電気分解の応用</p>	<p>【知識及び技能】ダニエル電池や鉛蓄電池、燃料電池等の構造や反応を知り、電池のしくみを理解することができる。鉛板と硫酸、乾電池を用いて、鉛蓄電池の仕組みを調べることができる。電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを考えることができる。また、ダニエル電池や代表的な電池の反応について考えることができる。外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学エネルギーを電気エネルギーとして取り出したり、外部から加えた電気エネルギーによって化学反応が起こったりする原理について調べようとする。実用一次電池と実用二次電池の例とその仕組みについて調べようとする。電気分解の工業的利用について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	○	○	○	8
<p>【知識及び技能】化学結合の種類と、それぞれの性質について理解することができるようにさせる。結晶の構造について理解させることができるようにさせる。固体には、結晶とアモルファス(非晶質、無定形固体)の2種類があることを理解させる。アモルファスの性質を理解させることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】結晶構造について考えることができるようにさせる。結晶の構造(体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造など)について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】粒子の結びつきを調べようとする。固体の構造を調べようとする。アモルファスの性質について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<p>第1章 固体の構造</p> <p>1. 結晶とアモルファス</p> <p>2. 金属結晶</p> <p>3. イオン結晶</p> <p>4. 分子間力と分子結晶</p> <p>5. 共有結合の結晶</p>	<p>【知識及び技能】化学結合の種類と、それぞれの性質について理解することができる。結晶の構造について理解することができる。固体には、結晶とアモルファス(非晶質、無定形固体)の2種類があることを理解することができる。アモルファスの性質を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】結晶構造について考えることができる。結晶の構造(体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造など)について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】粒子の結びつきを調べようとする。固体の構造を調べようとする。アモルファスの性質について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】構成粒子の熱運動と物質の三態変化を理解し、知識を身に付けている。物質の融点沸点が分子間力や化学結合の種類と関係し、粒子間に働く力が大きいほど高くなることを理解させる。ファンデルワールス力や水素結合について理解させる。平衡状態の概念を理解し、知識を身に付けている。沸騰と飽和蒸気圧との関係を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】気体の圧力を、分子の熱運動と関連づけて考察させる。気液平衡における構成粒子の挙動を平衡状態の概念を踏まえて説明させる。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>第2章 物質の状態変化</p> <p>1. 粒子の熱運動</p> <p>2. 三態の変化とエネルギー</p> <p>3. 気液平衡と蒸気圧</p>	<p>【知識及び技能】構成粒子の熱運動と物質の三態変化を理解し、知識を身に付けている。物質の融点沸点が分子間力や化学結合の種類と関係し、粒子間に働く力が大きいほど高くなることを理解する。ファンデルワールス力や水素結合について理解する。平衡状態の概念を理解し、知識を身に付けている。沸騰と飽和蒸気圧との関係を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】気体の圧力を、分子の熱運動と関連づけて考察する。気液平衡における構成粒子の挙動を平衡状態の概念を踏まえて説明する。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	5
<p>【知識及び技能】気体の体積、温度、圧力の間に存在させる関係を理解し、知識を身に付けている。実在気体と理想気体についてそれぞれ理解し、知識を身に付けている。混合気体の全圧と分圧の関係について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】グラフから読み取れる気体の性質を一般式で記述させる能力を身に付けている。実在気体の挙動を三態変化の観点から説明し、理想気体との違いを的確に表現させる。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】気体の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>第3章 気体</p> <p>1. 気体の体積</p> <p>2. 気体の状態方程式</p> <p>3. 混合気体の圧力</p> <p>4. 実在気体</p>	<p>【知識及び技能】気体の体積、温度、圧力の間に存在する関係を理解し、知識を身に付けている。実在気体と理想気体についてそれぞれ理解し、知識を身に付けている。混合気体の全圧と分圧の関係について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】グラフから読み取れる気体の性質を一般式で記述する能力を身に付けている。実在気体の挙動を三態変化の観点から説明し、理想気体との違いを的確に表現する。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】気体の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】溶解のしくみについて、溶媒と溶質の組合せによって溶解のしやすさが異なることを粒子モデルと関連付けて理解させる。気体の溶解度について、ヘンリーの法則を理解させる。希薄溶液の性質について、溶媒との違いを理解させる。コロイド粒子とコロイド溶液に関する知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶解度の定義を正しく理解し、再結晶によって物質を精製できるようにさせる原理を考察し、説明させる。凝固点降下と質量モル濃度との関係を見だし、説明する。</p>	<p>第4章 溶液</p> <p>1. 溶解とそのしくみ</p> <p>2. 溶解度</p> <p>3. 希薄溶液の性質</p>	<p>【知識及び技能】溶解のしくみについて、溶媒と溶質の組合せによって溶解のしやすさが異なることを粒子モデルと関連付けて理解する。気体の溶解度について、ヘンリーの法則を理解する。希薄溶液の性質について、溶媒との違いを理解する。コロイド粒子とコロイド溶液に関する知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶解度の定義を正しく理解し、再結晶によって物質を精製できるようにさせる原理を考察し、説明する。凝固点降下と質量モル濃度との関係を見だし、説明する。</p>				

1  
学  
期

<p>せる。透析によるコロイド溶液を精製できるよりにさせる原理を考察し、説明させる。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】溶液の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたたりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>		<p>る。凝固点降下と質量モル濃度の関係を見いだし、説明する。透析によってコロイド溶液を精製できる原理を考察し、説明する。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】溶液の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたたりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 11
<p>【知識及び技能】化学反応や状態変化が起こるとき、物質のもつエネルギーが変化することを理解させる。化学反応や状態変化に伴うエンタルピー変化を熱化学方程式を用いて表す方法を身に付けている。ヘスの法則を理解し、いくつかの熱化学方程式から、新たな反応熱を求める知識を身に付けている。化学反応には、反応前後における物質のもつ化学エネルギーの差が光の発生や吸収となって現れる反応があることを理解させる。吸熱反応が自発的に進む要因として、エントロピーが増大する方向に反応が進むことを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができるようにさせる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができるようにさせる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができるようにさせる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p>	<p>第1章 化学反応とエネルギー</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学反応と熱</li> <li>2. ヘスの法則</li> <li>3. 化学反応と光</li> </ol>	<p>【知識及び技能】化学反応や状態変化が起こるとき、物質のもつエネルギーが変化することを理解する。化学反応や状態変化に伴うエンタルピー変化を熱化学方程式を用いて表す方法を身に付けている。ヘスの法則を理解し、いくつかの熱化学方程式から、新たな反応熱を求める知識を身に付けている。化学反応には、反応前後における物質のもつ化学エネルギーの差が光の発生や吸収となって現れる反応があることを理解する。吸熱反応が自発的に進む要因として、エントロピーが増大する方向に反応が進むことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 8
<p>【知識及び技能】物質の状態と粒子の熱運動について理解させることができるようにさせる。状態変化と平衡について理解させることができるようにさせる。外圧によって水の沸点が変化させることを、観察を通じ理解させることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができるようにさせる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができるようにさせる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができるようにさせる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p>	<p>第3章 化学反応の速さとしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学反応の速さ</li> <li>2. 反応条件と反応速度</li> <li>3. 化学反応のしくみ</li> </ol>	<p>【知識及び技能】物質の状態と粒子の熱運動について理解することができる。状態変化と平衡について理解することができる。外圧によって水の沸点が変化することを、観察を通じ理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 6
<p>【知識及び技能】化学平衡とは何か、また、条件変化による平衡移動について理解させることができるようにさせる。濃度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができるようにさせる。温度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができるようにさせる。電離定数をもとにして、電離平衡について理解させることができるようにさせる。弱酸の水溶液の濃度とpHの関係から、電離定数を調べることをできるようにさせる。硫酸アンモニウムと水酸化ナトリウムを用い、アンモニアの遊離を確認することができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】可逆反応を平衡定数で表すこと、ルシャトリエの原理をもとに化学平衡の移動について考えることができるようにさせる。水のイオン積とpH、弱酸や弱塩基の電離平衡を電離定数をもとに求めることができるようにさせる。また、平衡移動の考え方をもち、緩衝液や塩の加水分解、難溶性塩の溶解について説明できるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係、条件の変化に伴う量的変化などについて調べようとする。緩衝液やpHについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<p>第4章 化学平衡</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可逆反応と化学平衡</li> <li>2. 平衡状態の変化</li> <li>3. 電解質水溶液の化学平衡</li> </ol>	<p>【知識及び技能】化学平衡とは何か、また、条件変化による平衡移動について理解することができる。濃度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができる。温度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができる。電離定数をもとにして、電離平衡について理解することができる。弱酸の水溶液の濃度とpHの関係から、電離定数を調べることができる。硫酸アンモニウムと水酸化ナトリウムを用い、アンモニアの遊離を確認することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】可逆反応を平衡定数で表すこと、ルシャトリエの原理をもとに化学平衡の移動について考えることができる。水のイオン積とpH、弱酸や弱塩基の電離平衡を電離定数をもとに求めることができる。また、平衡移動の考え方をもち、緩衝液や塩の加水分解、難溶性塩の溶解について説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係、条件の変化に伴う量的変化などについて調べようとする。緩衝液やpHについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 13
<p>定期考査</p>			<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 1
<p>【知識及び技能】有機化合物の特徴と分類について理解させることができるようにさせる。有機化合物の分析について理解させることができるようにさせる。砂糖に含まれる元素を調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】有機化合物の特徴と分類を考えることができるようにさせる。元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることについて考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を調べようとする。成分元素の検出について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<p>第1章 有機化合物の分類と分析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機化合物の特徴と分類</li> <li>2. 有機化合物の分析</li> </ol>	<p>【知識及び技能】有機化合物の特徴と分類について理解することができる。有機化合物の分析について理解することができる。砂糖に含まれる元素を調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】有機化合物の特徴と分類を考えることができる。元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることについて考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を調べようとする。成分元素の検出について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 2
<p>【知識及び技能】飽和炭化水素とその性質、反応について理解させることができるようにさせる。不飽和炭化水素とその性質、反応について理解させることができるようにさせる。飽和炭化水素と不飽和炭化水素の反応性の違いを、それぞれの化合物と臭素の反応から調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて考えることができるようにさせる。官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち、鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を調べようとする。不飽和炭化水素や、官能基をもつ脂肪族化合物の構造と性質を調べようとする。</p>	<p>第2章 脂肪族炭化水素</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 飽和炭化水素</li> <li>2. 不飽和炭化水素</li> </ol>	<p>【知識及び技能】飽和炭化水素とその性質、反応について理解することができる。不飽和炭化水素とその性質、反応について理解することができる。飽和炭化水素と不飽和炭化水素の反応性の違いを、それぞれの化合物と臭素の反応から調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて考えることができる。官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち、鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を調べようとする。不飽和炭化水素や、官能基をもつ脂肪族化合物の構造と性質を調べようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 7
<p>【知識及び技能】アルコールとエーテルの性質、反応について理解させることができるようにさせる。アルコールの炭素原子数と溶解性の関係調べることができるようにさせる。アルデヒドとケトンの性質、反応について理解させることができるようにさせる。アルコールの反応とその酸化生成物の性質についてエタノール、ナトリウム、銅線を使って実験することができるようにさせる。カルボン酸の性質、反応について理解させることができるようにさせる。エステルと油脂の性質、反応について理解させることができるようにさせる。エステルと油脂の性質、反応について理解させることができるようにさせる。</p>	<p>第3章 アルコールと関連化合物</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アルコールとエーテル</li> <li>2. アルデヒドとケトン</li> <li>3. カルボン酸</li> <li>4. エステルと油脂</li> </ol>	<p>【知識及び技能】アルコールとエーテルの性質、反応について理解することができる。アルコールの炭素原子数と溶解性の関係調べることができる。アルデヒドとケトンの性質、反応について理解することができる。アルコールの反応とその酸化生成物の性質についてエタノール、ナトリウム、銅線を使って実験することができる。カルボン酸の性質、反応について理解することができる。エステルと油脂の性質、反応について理解することができる。エステルを合成し、その性質を調べようとする。</p>	



<p>間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを理解させる。          化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解させる。          【思考力、判断力、表現力等】無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察させる。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現させる。          【学びに向かう力、人間性等】化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>化学とともに歩む</p>	<p>て人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにすることを理解する。          化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。          【思考力、判断力、表現力等】無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察する。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現する。          【学びに向かう力、人間性等】化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計 140

高等学校

教科 国語

科目

古典基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 3 組

使用教科書：（『高等学校 古典探究 古文編』（第一学習社）『高等学校 古典探究 漢文編』（第一学

校） 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、古典を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 古典基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	『古今著聞集』「小式部内侍が大江山の歌の事」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深める。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・和歌の修辭 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意したうえで、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、和歌を含む説話の特徴について理解しようとしている。	○	○	○	7
	『方丈記』「ゆく川の流れ」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	『唐詩紀事』「推敵」 【知識及び技能】 ・内容を理解し、故事成語の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国の代表的な文章を読んで、表現、構成の巧みさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在も使われている故事成語について積極的に調べ	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった語を読んで、わかった内容を説明しようとして	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	『伊勢物語』「初冠」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語における和歌の役割を理解する。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・和歌の修辭 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法事項や古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	『更級日記』「西出」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、内容を的確に捉えている。	○	○	○	6
	『雑説』 【知識及び技能】 ・論説の構成・展開について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・本文の成分の順序や照応、構成や展開の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	『沙石集』「歌ゆゑに命を失ふ事」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 ・和歌の修辭について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌を含んだ説話の特質について理解を深める。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法事項や古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈しようとしている。	○	○	○	6
	『大鏡』「弓争ひ」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者の意図を踏まえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	○	○	○	7
	『史記』「鴻門之会」「剣の舞」 【知識及び技能】 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を正確に捉えようとする。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に役立てようとしている。	○	○	○	7
	『史記』「鴻門之会」「樊噲、頭髮上目指す」 【知識及び技能】 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を捉える。	事項・内容読解	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めている。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとする。	○	○	○	7
	『枕草子』「如月つごもり」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『枕草子』を読もうとする。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『枕草子』を読み、類集的章段・随想的章段・日記的章段があるという作品の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	『竹取物語』「かぐや姫の嘆き」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら内容を捉える。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	○	○	○	6
	和歌 【知識及び技能】 ・和歌の修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって和歌芸の特徴を捉えようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・和歌の修辭 ・文学史	【知識及び技能】 ・和歌の修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・題詞や歌の背景を参考にしながら作品に表れている情景や心情を読み取り、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	○	○	○	4
	『源氏物語』「光る君誕生」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	8
	『源氏物語』「若紫」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	8
	『韓非子』「侵官之害」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。	○	○	○	4

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。</li> </ul>	<p>ている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。</li> </ul>				
定期考査		○	○		1
					合計 105

高等学校（第2学年用）

教科 国語

科目

古典探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組～ 8 組

使用教科書：（『高等学校 古典探究 古文編』（第一学習社）『高等学校 古典探究 漢文編』（第一学

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、古典を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	『古今著聞集』「小式部内侍が大江山の歌の事」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深める。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・和歌の修辭 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意したうえで、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、和歌を含む説話の特徴について理解しようとしている。	○	○	○	7
	『方丈記』「ゆく川の流れ」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	『唐詩紀事』「推敵」 【知識及び技能】 ・内容を理解し、故事成語の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国の代表的な文章を読んで、表現、構成の巧みさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在も使われている故事成語について積極的に調べ	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった語を読んで、わかった内容を説明しようとして	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	『伊勢物語』「初冠」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語における和歌の役割を理解する。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・和歌の修辭 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法事項や古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	『更級日記』「西出」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、内容を的確に捉えている。	○	○	○	6
	『雑説』 【知識及び技能】 ・論説の構成・展開について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・本文の成分の順序や照応、構成や展開の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	『沙石集』「歌ゆゑに命を失ふ事」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 ・和歌の修辭について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌を含んだ説話の特質について理解を深める。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法事項や古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈しようとしている。	○	○	○	6
	『大鏡』「弓争ひ」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者の意図を踏まえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	○	○	○	7
	『史記』「鴻門之会」「剣の舞」 【知識及び技能】 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を正確に捉える。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に役立てて感じたことを話し合おうとしている。	○	○	○	7
	『史記』「鴻門之会」「樊噲、頭髮上目指す」 【知識及び技能】 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を捉える。	事項・内容読解	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めている。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。	○	○	○	7
	『枕草子』「如月つごもり」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『枕草子』を読もうとする。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『枕草子』を読み、類集的章段・随想的章段・日記的章段があるという作品の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	『竹取物語』「かぐや姫の嘆き」 【知識及び技能】 ・助動詞、助詞など必要な文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら内容を捉える。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	○	○	○	6
	和歌 【知識及び技能】 ・和歌の修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって和歌芸の特徴を捉えようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・和歌の修辭 ・文学史	【知識及び技能】 ・和歌の修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・題詞や歌の背景を参考にしながら作品に表れている情景や心情を読み取り、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	○	○	○	4
	『源氏物語』「光る君誕生」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	8
	『源氏物語』「若紫」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	8
	『韓非子』「侵官之害」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。	○	○	○	4

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。</li> </ul>	<p>ている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。</li> </ul>				
定期考査		○	○		1
					合計 105

# 高等学校（2年用）教科

# 理科

# 科目 物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『新編 物理基礎』（数研出版））

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 物理基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理学に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要となる基本的な技能が身に付いている。	修得した「知識・技能」を用いて、物理現象について科学的・論理的に思考、判断を行い、法則を正しく用いて表現することができる。	「知識・技能」および「思考力、判断力、表現力」を身に置付ける過程において、物理法則に主体的に触れ、活用して課題を解決しようとする態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> <li>速度が向きをもった量であることを理解させる。</li> <li>直線運動における加速度の定義を理解させる。</li> <li>等加速度直線運動における3つの式を理解させ、その具体的な運用に慣れさせる。</li> <li>重力のみを受けた物体の運動（落体の運動）は、加速度の大きさgの等加速度直線運動であることに気づかせる。</li> <li>自由落下や鉛直投射などの式が書けるようにし、その運用に慣れさせる。</li> </ul>	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1 速度 2 加速度 3 落体の運動	【知】物体の運動を表すには向きが必要であること理解している。加速度運動や自由落下、鉛直投射において、与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができる。 【思】等加速度直線運動する物体のようすについて説明できる。自由落下、鉛直投射の性質を正しく理解し、これらの運動について考察することができる。 【態】日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、加速度運動、自由落下する物体の運動、鉛直投射された物体の運動の表し方を理解しようとしている。	○	○	○	12
定期考査						
<ul style="list-style-type: none"> <li>力はベクトル量であり、合成や分解ができること、分解したときのx成分とy成分を求められるようにする。物体にいくつかの力がはたらくとき、これらのx成分、y成分のつりあいの式が立てられるようにする。</li> <li>物体は力を受けると加速すること、また、生じる加速度の大きさは質量に反比例し、力の大きさに比例することを理解させ、いくつかの具体例を用いて、運動方程式の立て方を習得させる。</li> <li>摩擦力について、静止摩擦、最大摩擦、動摩擦を理解し、それぞれの表し方を理解させる。</li> <li>液体や気体中にある物体には浮力がはたらくこと、および、浮力の大きさについてアルキメデスの原理が成り立つことを理解させる。</li> </ul>	第1編 運動とエネルギー 第2章 運動の法則 1 力とそのはたらき 2 力のつり合い 3 運動の法則 4 摩擦を受ける運動 5 液体や気体から受ける力	【知】様々な力について理解しており、注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができる。摩擦力について理解し、静止摩擦や動摩擦を用いた運動方程式を立てることができる。 【思】運動方程式を用いて、物体の運動を考えることができる。物体にはたらく摩擦力について説明できる。 【態】見る、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしている。	○	○	○	15
定期考査						
<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の定義を正確に把握させる。</li> <li>物体の運動エネルギーの変化が物体にされた仕事に等しいこと、および、この関係が導かれる過程を理解させる。</li> <li>高い所にある物体は他の物体に対して仕事をすることから、重力による位置エネルギーをもっていることを理解させる。</li> <li>弾性力による位置エネルギーについて理解させる。</li> <li>仕事と運動エネルギーの関係式を用いて、保存力だけが仕事をするとき力学的エネルギー保存則が成り立つことを理解させる。</li> </ul>	第1編 運動とエネルギー 第3章 仕事と力学的エネルギー 1 仕事 2 運動エネルギー 3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存	【知】仕事、仕事率を計算して求めることができる。運動エネルギーの表し方、運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを理解している。位置エネルギーについて理解し、計算することができる。力学的エネルギー保存則が成り立つ条件が整っているかどうかを判断し、さまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いることができる。 【思】物体に対して力がはたらいていても、仕事がないときもあり、それがどのようなときであるかを説明できる。運動エネルギーと位置エネルギーがどのようなものかを理解し、説明できる。力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができる。 【態】物理における「仕事」について理解しようとしている。位置エネルギーや運動エネルギーと仕事の関係に興味をもち、理解しようとしている。力学的エネルギー保存則について興味関心をもち、理解しようとしている。	○	○	○	12

2 学 期	定期考査								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱の移動がエネルギーの移動であることを説明し、熱がエネルギーの一形態であることを理解させる。</li> <li>熱容量や比熱の定義を理解させたうえで、温度を<math>\Delta T</math> [K] 変化させるのに必要な熱量を、熱容量や比熱を用いて表すことができるようにする。</li> <li>物体の内部エネルギーを変化させる方法は2種類あり、それは熱することと仕事をすることであること(熱力学第一法則)を理解させる。</li> </ul>	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1 熱と物体の状態 2 熱と仕事	<b>【知】</b> 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。熱機関と熱機関の効率について理解している。 <b>【思】</b> 比熱の大きさから、物質の温まりやすさを類推できる。日常的な事象を、学習内容に照らし合わせて説明できる。 <b>【態】</b> ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心を持ち、理解しようとしている。熱と仕事の関係について興味関心を持ち、理解しようとしている。	○	○	○	4		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>波動とは、媒質の1点に起こった振動が、媒質中を少しずつ遅れて伝わっていく現象であることを理解させる。</li> <li>2つの波がある点に同時に達したときの変位は、2つの波が単独に達したときの変位の和であることを理解させる。</li> <li>自由端では位相は変わらず、山の人射波は山として反射されるが、固定端では位相が半波長ずれて、山は谷として反射されることを理解させる。</li> </ul>	第3編 波 第1章 波の性質 1 波と媒質の運動 2 重ね合わせの原理	<b>【知】</b> 波の発生原理や基本事項を理解している。縦波と横波の違いを理解している。縦波を横波の形で表現できている。波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解している。 <b>【思】</b> 波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。波の基本事項について説明できる。固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できる。 <b>【態】</b> 身近な波の現象に興味を持ち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。波が衝突や反射するときのようになるか、興味を持って、自分の考えを述べることができる。	○	○	○	8		
定期考査									
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間を伝わる音波は空気を媒質とする縦波である(真空中では音波は伝わらない)ことを理解させる。</li> <li>弦の振動は、弦の両端を節とする定在波であることを理解させる。</li> <li>気柱の固有振動は閉端を腹、閉端を節とする定在波であることを把握させる。</li> </ul>	第3編 波 第2章 音 1 音の性質 2 発音体の振動と共振・共鳴	<b>【知】</b> 音の波としての性質を理解している。弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 <b>【思】</b> 音の特徴づける3つの要素について説明できる。うなりとはどのような現象であるかを説明できる。倍音とはどのような振動数の音であるかを説明できる。温度と気柱の長さの関係についてこれまで学んだ知識より類推できる。 <b>【態】</b> 身近な音の現象に興味を持ち、基本事項について理解しようとしている。弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べるができる。	○	○	○	6		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体が帯電するしくみでは、帯電は電子の過不足から生じ、電気現象は電子が主役であることを認識させる。</li> <li>電流の向きと大きさについてしっかりと理解させる。また、電圧・電流・電気抵抗の間には、オームの法則が成り立つことを理解させる。</li> <li>発生する熱をジュール熱とよぶこと、および、発熱量が電流と電圧と時間の積で表されることを理解させる。電流がする仕事(電力量) <math>W</math> が <math>Ivt</math> [J] に等しいことを理解させる。</li> </ul>	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 1 電気の性質 2 電流と電気抵抗 3 電気とエネルギー	<b>【知】</b> 物体の帯電するしくみについて理解している。導体・不導体、半導体の違いについて理解している。電流と電圧の基礎について理解している。オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解している。ジュールの法則について理解している。 <b>【思】</b> 金属の抵抗率が小さいほど電気をロスなく通しやすく、大きいほど熱として消費しやすいことを理解している。電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できる。導体の抵抗値は、形状とどのような関係があるかを説明できる。ジュール熱について、電流と電圧とどのような関係にあるかを説明できる。 <b>【態】</b> 身近な静電気現象について、なぜそうなるかを述べるができる。電気回路の抵抗の接続のしかたを変えたとき、抵抗に加わる電圧と流れる電流の値がどのようなかについて、主体的に考えることができる。日常で使う電気を踏まえて、ジュール熱や電力について、主体的に考えることができる。	○	○	○	5		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線電流が周囲につくる磁場、円形電流が円の中心につくる磁場、ソレノイドがその内部につくる磁場の向きについて理解させる。</li> <li>電流が磁場から受ける力について理解させる。</li> <li>コイル内に磁石を出し入れさせたときに、検流計の針が振れる電磁誘導の現象を理解させる。</li> <li>交流の電圧は時間的に変化し、その電圧の波形には最大値や0となる瞬間があることを理解させる。</li> </ul>	第4編 電気 第2章 磁場と交流 1 電流と磁場 2 交流と電磁波	<b>【知】</b> 直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができる。電磁誘導の基礎を理解している。交流電圧の基本について理解している。 <b>【思】</b> 電流と磁場の関係について説明できる。身近な電磁誘導の利用例について、説明できる。直流と交流の違いについて理解しており、それを説明することができる。送電における電力損失の理由を理解しており、説明できる。 <b>【態】</b> 電流の流れる向きと磁場の向きの関係について、主体的に考えることができる。直流と交流の違いや送電時の工夫について、主体的に考えることができる。	○	○	○	5		

定期考査								
<p>・光エネルギー、化学エネルギー、核エネルギーとは何か、またそれらのエネルギーの具体的な利用について学習させる。また、あらゆる自然現象におけるエネルギーの変換では、それに関係した全てのエネルギーの和は一定に保たれることを理解させる。</p> <p>・エネルギー資源には一次エネルギーと二次エネルギーがあること、そして二次エネルギーの一種である電気エネルギーを得るための発電の方法について、そのしくみと特徴を学習させる。</p>	<p>第5編 エネルギーの利用</p> <p>1 エネルギーの移り変わり</p> <p>2 エネルギー資源と発電</p>	<p>【知】 エネルギーにはどのような種類があるか、また、身近なさまざまな事象でどのようなエネルギー変換がなされているかを理解している。</p> <p>【思】 ある事象に対して、どのようなエネルギー変換が行われているかを考察し、説明することができる。</p> <p>【態】 太陽電池などでどのように電気エネルギーを得ているのかを主体的に考えることができる。</p>	○	○	○	3		
						合計	70	

# 高等学校（2学年用） 教科

# 理科

# 科目 科学と人間生活

教科： 理科 科目： 科学と人間生活  
 対象学年組： 第 2 学年 7 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書：（『高等学校 科学と人間生活』（第一学習社））

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、科学現象についての観察、実験などを行うことを通して、科学に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付ける。	科学を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	科学現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・混合物、純物質（単体・化合物）について理解する。 ・混合物の分離精製の仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・どのような分離法が有効か判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協力して実験をし、観察結果を表現できる。	指導事項 ・混合物と純物質 ・ろ過、再結晶、蒸留、抽出、昇華法、クロマトグラフィー	【知識及び技能】 ・言葉の正確な理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・発問時や実験レポートにおける考察内容。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への出席状況、実験レポートの提出状況。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・元素記号、化合物と単体の違いについて知る。 ・物質の二態について理解する。 ・ガスバーナーの使い方、実験器具の洗いを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同素体の性質の違いが生じる理由について考える。 ・電了が原子の性質に影響することを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協力して実験をし、観察結果を表現できる。	指導事項 ・元素と元素記号 ・元素の確認法 炎色反応 塩素の確認 水素の確認 炭素の確認 ・同素体 ・物質の三態を熱運動の観点から説明出来るように指導する。	【知識及び技能】 ・言葉の正確な理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・発問時や実験レポートにおける考察内容。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への出席状況、実験レポートの提出状況。	○	○	○	6
	定期考査						1
	【知識及び技能】 ・原子の構造 ・電子配置 【思考力、判断力、表現力等】 ・周期表の意味について価電子数から考える。 ・各物質をイオン式で表記できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協力して実験をし、観察結果を表現できる。	指導事項 ・原子の構造 ・同位体 ・電子配置 ・イオン ・イオン式 ・周期表	【知識及び技能】 ・言葉の正確な理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・発問時や実験レポートにおける考察内容。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への出席状況、実験レポートの提出状況。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ・イオン結合、共有結合、金属結合の違い ・電気陰性度と極性 ・金属の参加の危険性について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学結合の種類と物質の性質の違いを関連付けて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協力して実験をし、観察結果を表現できる。	指導事項 ・イオン結合 ・共有結合と分子 ・分子の構造式 ・分子間に働く力の種類と強弱 ・金属結合	【知識及び技能】 ・言葉の正確な理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・発問時や実験レポートにおける考察内容。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への出席状況、実験レポートの提出状況。	○	○	○	6
	定期考査						1
【知識及び技能】 ・原子量、分子量、物質質量について理解する。 ・化学反応式の書き方 ・化学天秤の使い方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ、gやkgや個ではなく、分子量・原子量・物質質量といった単位を用いるのか説明できる。 ・各種単位の換算ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協力して実験をし、観察結果を表現できる。	指導事項 ・原子量、分子量とアボガドロ数 ・molの概念 ・気体の標準状態 ・化学反応式の書き方	【知識及び技能】 ・言葉の正確な理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・発問時や実験レポートにおける考察内容。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への出席状況、実験レポートの提出状況。	○	○	○	6	
【知識及び技能】 ・化学反応式に係数を正しくつけることができる。 ・水溶液を正しく調整することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学反応式の係数が量的関係をあらわしていることに気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協力して実験をし、観察結果を表現できる。	指導事項 ・化学反応式の書き方 ・化学反応の量的関係 ・溶液のモル濃度	【知識及び技能】 ・言葉の正確な理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・発問時や実験レポートにおける考察内容。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への出席状況、実験レポートの提出状況。	○	○	○	6	



高等学校（2学年用） 教科

国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 8組

教科担当者：（1,2,4,5組：野上）（3,6,7,8組：福井）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（『高等学校論理国語』（第一学習社））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】的確に理解したものを適切に表現する力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
<p>「私」中心の日本語(森田良行)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めて活用する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体例と主張との関係を整理して論理構成を的確に捉え、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して文章の妥当性を吟味したうえで、筆者が主張する日本語の特徴を理解する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文をよく読んで、筆者の主張する日本語の特徴を理解したうえで、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、自分の考えを説明する。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。</li> <li>人称語、ことわざ・慣用句の分析に基づく筆者の主張を検討し、自分の考えをまとめる活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めて活用することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体例と主張との関係を整理して論理構成を的確に捉え、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して文章の妥当性を吟味したうえで、筆者が主張する日本語の特徴を理解している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文をよく読んで、筆者の主張する日本語の特徴を理解したうえで、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、自分の考えを進んで説明しようとしている。</li> </ul>		○	○	○	4
<p>手の変幻(清岡卓行)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理しながら内容や構成を捉え、主張に説得力を持たせるための論展開について多面的・多角的な視点から評価する。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>本文をよく読み、本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、要旨をまとめる。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。</li> <li>本文の文章と資料を踏まえて自分の考えをまとめ、話し合う活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理しながら内容や構成を捉え、主張に説得力を持たせるための論展開について多面的・多角的な視点から評価している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文をよく読み、本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、要旨をまとめるようとしている。</li> </ul>		○	○	○	3
<p>山月記(中島敦)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公による自己分析と、虎になってしまった事実との因果関係を論理的に捉える。</li> <li>表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を捉える。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材全体の構成や登場人物の行動、心理を的確に読み取ったうえで作品の主題を現代社会に置き換えて自分自身を見つめ直そうとする。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。（補助教材『近現代文学コレクション』第一学習社を活用）</li> <li>本文の文章を論理的に踏まえて現代社会との相関について自分の考えをまとめ、話し合う活動。</li> </ul>	<p>山月記(中島敦)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公による自己分析と、虎になってしまった事実との因果関係を論理的に捉えている。</li> <li>表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材全体の構成や登場人物の行動、心理を的確に読み取ったうえで作品の主題を現代社会に置き換えて自分自身を見つめ直そうとしている。</li> </ul>					5
定期考査						1	

1 学 期	<p>越境する動物がもたらす贈り物 (矢野智司)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張とそれを支える根拠の関係に着目して、物語に描かれた人間と動物との関わりを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。</li> <li>「異類婚姻譚」で描かれる「悲劇」について、情報を収集整理して文章にまとめる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「異類婚姻譚」について調べ、調査したことをまとめたり、発表したりする。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。</li> <li>論理的な文章を読み、多様な論点を踏まえ、その内容を批評する活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張とそれを支える根拠の関係に着目して、物語に描かれた人間と動物との関わりを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。</li> <li>「異類婚姻譚」で描かれる「悲劇」について、情報を収集整理して文章にまとめている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「異類婚姻譚」について調べ、調査したことをまとめたり、発表したりする活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>働かないアリに意義がある (長谷川英祐)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造の妥当性を吟味しながら内容を解釈し、筆者の主張を多面的な視点から評価する。</li> <li>筆者の主張をふまえて、さまざまな個性を持った人たちが集まる組織を運営していくにはどうすればよいかを考え、発表し合う。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中で紹介される実験について内容と結果を的確にまとめ、筆者が結論に至った論理の展開を捉える。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。</li> <li>本文の文章と資料を踏まえて自分の考えをまとめ、論述する活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造の妥当性を吟味しながら内容を解釈し、筆者の主張を多面的な視点から評価する。</li> <li>筆者の主張をふまえて、さまざまな個性を持った人たちが集まる組織を運営していくにはどうすればよいかを考え、発表し合う。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中で紹介される実験について内容と結果を的確にまとめ、筆者が結論に至った論理の展開を捉える。</li> </ul>				4
	<p>推論とは何か (仲島ひとみ)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>推論の仕方について、本文を読んで理解を深め、実際に活用する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な推論の例を多面的・多角的な視点から捉え、その妥当性を検討・評価する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>推論の仕方について理解したうえで、妥当性を検証したり実際に活用したりすることで、推論への理解を深める。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。</li> <li>本文の文章と資料を踏まえて自分の考えをまとめ、論述する活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>推論の仕方について、本文を読んで理解を深め、実際に活用している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な推論の例を多面的・多角的な視点から捉え、その妥当性を検討・評価している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>推論の仕方について理解したうえで、妥当性を検証したり実際に活用したりすることで、推論への理解を深めている。</li> </ul>	○	○	○	2
定期考査							1
	<p>こころ (夏目漱石)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「K」の言動をもとに「私」がどのような推論のもとに行動しているかを確かめながら、「私」自身が破局に至る過程を追う。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読解を深めながら自分が抱いた感想や意見をメモし、それをもとに意見交換をする。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。(副教材『近現代文学コレクション』及び文庫版『こころ』を活用する。)</li> <li>人間の行動の背景にある論理的思考を捉え、それについて批評し合う活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解することに努めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「K」の言動をもとに「私」がどのような推論のもとに行動しているかを確かめながら、「私」自身が破局に至る過程を追っている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読解を深めながら自分が抱いた感想や意見をメモし、それをもとに意見交換をしている。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>生体認証技術の発展と未来 (高野麻子)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文読解。</li> <li>本文の文章と資料を踏まえて自分の考えをまとめ、論述する活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>				

2 学 期	情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を捉えて、生体認証技術の持つ課題を的確に把握し、文章の内容を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深める。 ・生体認証技術が現代社会に投げかける意味について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に意思決定がデータに影響を受けている事例を探し、表現の仕方を工夫して発表する。		・内容や構成、論理の展開を捉えて、生体認証技術の持つ課題を的確に把握し、文章の内容を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深めている。 ・生体認証技術が現代社会に投げかける意味について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に意思決定がデータに影響を受けている事例を探し、表現の仕方を工夫して発表している。	○	○	○	5
	定期考査						1
	AI時代の社会と法（小塚莊一郎） 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を捉えて、AI（人工知能）の発展がもたらす社会と法の変化を的確に把握し、多様な論点や異なる価値観と結び付けて自分の考えを深める。 ・トロッコ問題を含むジレンマについて、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直して主張を明確にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文をよく読んで、AIの発展がもたらす社会と法の変化を的確に把握したうえで、今日的な問題意識を持ち、積極的に自分の考えを論述したり発表したりする。	指導事項 ・本文読解。 ・論理的な文章を読み、その内容を批判的に検討する活動。	【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を捉えて、AI（人工知能）の発展がもたらす社会と法の変化を的確に把握し、多様な論点や異なる価値観と結び付けて自分の考えを深めている。 ・トロッコ問題を含むジレンマについて、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直して主張を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文をよく読んで、AIの発展がもたらす社会と法の変化を的確に把握したうえで、今日的な問題意識を持ち、積極的に自分の考えを論述したり発表したりしている。	○	○	○	5
	コミュニティ空間としての都市（広井良典） 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中で提示される調査結果と筆者の主張との関係を把握して、内容を的確に理解し、将来の社会のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料を参考にしながら、「都市型コミュニティ」の中の居場所について考えを深め発表する。	指導事項 ・本文読解。 ・資料を参照しながら、筆者がそれをどう活用しているかを押さえ、筆者の主張を理解・批評する活動。	【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中で提示される調査結果と筆者の主張との関係を把握して、内容を的確に理解し、将来の社会のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料を参考にしながら、「都市型コミュニティ」の中の居場所について考えを深め発表している。	○	○	○	5
	法に関わる文章を読み比べる 【知識及び技能】 ・情報と情報との関係、また情報を階層化して整理する方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法に関する説明文と刑事裁判の判決文を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけながら理解したことをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、両者を関連づけて理解したことを学習課題に沿ってまとめる。	指導事項 ・本文読解。 ・法に関する説明文と実際の判決文を並行して読み、思考の過程・論理を追いかける活動。	【知識及び技能】 ・情報と情報との関係、また情報を階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法に関する説明文と刑事裁判の判決文を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけながら理解したことをまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、両者を関連づけて理解したことを学習課題に沿ってまとめている。	○	○	○	3
	定期考査						1
	「である」ことと「する」こと（丸山真男） 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を的確に捉えて、要旨を把握し、民主主義のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に自分の考えを論述したり発表したりする。	指導事項 ・本文読解。 ・「である」こと、「する」ことがどういう状況を表したのかを具体例をもとに的確にとらえ、それについて批評する活動。	【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を的確に捉えて、要旨を把握し、民主主義のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に自分の考えを論述したり発表したりする。				

3 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例と主張との関係、段落相互の関係の的確に捉えて、要旨を把握し、民主主義のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて考える。</li> <li>・「『である』価値と『する』価値の倒錯」した例を探しながら民主化の進んだ状態について考え</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主主義のあり方について述べた評論をよく読んで、考えたことを積極的に発表する。</li> </ul>		<p>り方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「『である』価値と『する』価値の倒錯」した例を探しながら民主化の進んだ状態について考え</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主主義のあり方について述べた評論をよく読んで、考えたことを積極的に発表する。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>読み比べ</p> <p>対話の意味（細川英雄） 身心的表現の関係性（野村雅一）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めて活用する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションをテーマとした複数の文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、必要な情報を関係付けて、自分の考えを深める。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションというテーマで書かれた複数の文章から読み取った情報を吟味し、学習課題に沿ってまとめる。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文読解。</li> <li>・複数の文章を読み比べて一つのテーマについて二人の筆者の主張の共通点・相違点をまとめる活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めて活用している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションをテーマとした複数の文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、必要な情報を関係付けて、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションというテーマで書かれた複数の文章から読み取った情報を吟味し、学習課題に沿ってまとめている。</li> </ul>	○	○	○	7
	定期考査						1
	<p>ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報との関係、また情報を階層化して整理する方法について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる形式で書かれた複数の実用文を多面的・多角的な視点から捉え、それらをふまえて書かれたメール文を検討・評価する。</li> <li>・複数の資料および会話をふまえてメール文の課題を捉え直し、書き手の主張が的確に伝わる文章になるように工夫して、文章全体を整える。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、それらをふまえて書かれたメール文の特長・課題を捉え、文章全体を整えようとする。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報の取捨選択、情報発信者の意図の吟味などを通して適切な実用文を書く活動。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報との関係、また情報を階層化して整理する方法について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる形式で書かれた複数の実用文を多面的・多角的な視点から捉え、それらをふまえて書かれたメール文を検討・評価している。</li> <li>・複数の資料および会話をふまえてメール文の課題を捉え直し、書き手の主張が的確に伝わる文章になるように工夫して、文章全体を整えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、それらをふまえて書かれたメール文の特長・課題を捉え、文章全体を整えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
						合計	70

## 高等学校（2学年用）教科

## 外国語 科目 エッセイ・ライティング

教科： 外国語 科目： エッセイ・ライティング

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 7 組～ 8 組

使用教科書：（なし）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】各単元のテーマや書き方を理解し、それを用いて適切な文章を書く。

【思考力、判断力、表現力等】課題のテーマに即した内容の文章を書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】課題のテーマに即した内容の文章を書こうとする力を養成する。

科目 エッセイ・ライティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
この授業を通じて学ぶ文法や語彙に加え、実際の場面で活用できる様々な技法方法や表現力を身につけている。	与えられた課題を行うために、テーマをよく考えて主題を明確にし、わかりやすい文章を書いている。	与えられた課題を行うために、テーマをよく考えて主題を明確にし、わかりやすい文章を書くことと努めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<b>【知識及び技能】</b> ・自分の身近なテーマで書く ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・辞書を用いながら、場面に合った適切な表現を学ぶ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	指導事項 ・様々なテーマで意見を書く ・文章の基本構成を確認する ・ ・ ・	<b>【知識及び技能】</b> ・自分の身近なテーマを掘り下げられる ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・場面にあった適切な表現を用いている ・ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	○	○	○	10
	<b>【知識及び技能】</b> ・コンテストのテーマに合わせたエッセイを書く <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・辞書を用いながら、場面に合った適切な表現を学ぶ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	指導事項 ・エッセイコンテストに向けた作品を書く ・コンテストに必要な内容が書けるよう助言する ・ ・ ・	<b>【知識及び技能】</b> ・テーマに合わせた内容で書く ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・実体験や具体例を用いて説得力を持たせた内容にする <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	○	○	○	14
2 学期	<b>【知識及び技能】</b> ・様々な形式でエッセイを書く ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・辞書を用いながら、場面に合った適切な表現を学ぶ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	指導事項 ・様々な構成で自分の考えをまとめて書く ・英文の構成の特徴を学ぶ ・ ・ ・	<b>【知識及び技能】</b> ・自分の身近なテーマを掘り下げられる ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・場面にあった適切な表現を用いている ・ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	○	○	○	14
	<b>【知識及び技能】</b> ・グループで決めた新聞のテーマに合わせた記事を書く <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・辞書を用いながら、場面に合った適切な表現を学ぶ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	指導事項 ・ニューズペーパープロジェクトに向けて新聞記事を書く ・ ・ ・	<b>【知識及び技能】</b> ・テーマに合わせた内容で書く ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・興味関心がある内容を、説得力を持たせた内容にする <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	○	○	○	16
3 学期	<b>【知識及び技能】</b> ・検定試験の形式に慣れ、テーマに合わせたエッセイを書く <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・辞書を用いず、学んだ知識を活用して表現を応用する <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	指導事項 ・各種英語外部検定の内容を学ぶ ・検定で求められるレベルのエッセイを書く ・ ・ ・	<b>【知識及び技能】</b> ・検定試験の形式に合うエッセイを書く ・ <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・問題の内容に合わせて適切な表現を用いて、求められる分量のエッセイを書く <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・課題を提出する	○	○	○	16
							合計 70

高等学校（第2学年用）

教科 保健体育

科目

体育

単位数： 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：ステップアップ高校スポーツ

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びをを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性に
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、自己
- 【学びに向かう力、人間性等】公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす。一人一人の違いを大切にしようとしている。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>【知識及び技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>体づくり運動 (敏捷性を高める運動・柔軟性を高める運動 ・巧緻性を高める運動)</p>	<p>【知識及び技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技の学習に主体的に取り組むこと。 ・フェアなプレイを大切にすること。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。</p>	<p>種目選択制授業 バスケットボール ハンドボール テニス</p>	<p>【知識及び技能】 ・ゴール型では状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	○	○	○	10
<p>【知識及び技能】</p>	<p>水泳</p>	<p>【知識及び技能】</p>				

1 学期



# 高等学校（2学年用）教科 保健体育

# 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『現代高等保健体育』（大修館書店））

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】正しい知識を身につけ、課題を発見することができる。

【思考力、判断力、表現力等】自己の状況や環境を考慮したうえで、課題の解決方法を探求する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】健康の保持・増進に努めることができる。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があることを理解する。	生涯の各段階における健康課題について他者と共有し、その解決方法を探求することができる。	生涯の各段階と健康の関りを踏まえて、適切な意志決定や行動選択ができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期以降の健康課題について正しい知識を見つけることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期以降の健康課題について自己の意見を伝えることができる。</li> <li>・思春期以降の健康課題について、他者の意見を取り入れながら解決方法を見出すことができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期以降の健康課題について、意思決定・行動選択ができるようにする。</li> </ul>	<p>【生涯を通じる健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期と健康</li> <li>・性意識と性行動の選択</li> <li>・妊娠・出産と健康</li> <li>・避妊法と人工妊娠中絶</li> <li>・結婚生活と健康</li> <li>・性感染症・エイズとその予防</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期以降の健康課題について、正しい知識を身につけることができた。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期以降の健康課題について自己の意見を発表することができた。</li> <li>・思春期以降の健康課題について、他者の意見を取り入れて、解決に向けて探求することができた。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期以降の健康課題について、ワークシートにまとめることができる。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における保健サービスや医療サービスについて理解する。</li> <li>・医薬品正しい利用法について説明できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健サービスや医療サービスについて、生涯の各段階別に課題を発見し、例を挙げて説明することができる。</li> <li>・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住んでいる自治体や医療機関のサービスに関心を持ち、行動することができる。</li> </ul>	<p>【健康を支える環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健サービスとその活用</li> <li>・医療サービスとその活用</li> <li>・医薬品の利用とその活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における保健サービスや医療サービスについて理解することができた。</li> <li>・医薬品正しい利用法について説明できた。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健サービスや医療サービスについて、生涯の各段階別に課題を発見し、例を挙げて説明することができた。</li> <li>・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できた。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住んでいる自治体や医療機関のサービスに関心を持ち、行動することができた。</li> </ul>	○	○	○	3
定期考査						
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表を通して、自己の疑問を検証、解決することができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめレポートの内容が一貫して、序論から結論までまとめられるように導いていく。</li> <li>・発表内容が聞き手に分かりやすく、まとめられるようにグループ内の活動の時間を設けていく。</li> <li>・他者のグループ発表を通して、自己の考察や意見を持てるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力し、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むように導いていく。</li> <li>・まとめレポートの提出を探究させ</li> </ul>	<p>研究発表形式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ探し～テーマ決定</li> <li>・研究活動計画の検討</li> <li>・中間発表</li> <li>・研究発表</li> <li>・まとめレポート作成</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表を通して、自己の疑問を検証、解決することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめレポートの内容が一貫して、序論から結論までまとめられている。</li> <li>・発表内容が聞き手に分かりやすく、まとめられている。</li> <li>・他者のグループ発表を通して、自己の考察や意見を持つことができた。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力し、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・まとめレポートの提出</li> </ul>	○	○	○	21

<p>るように「なぜ」という疑問をもたせていく。</p>						
<p>【知識・理解】          ・加齢にともなう心身の変化について理解する。          ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて理解する。</p>	<p>【生涯を通じる健康】          ・中高年の健康</p>	<p>【知識・理解】          ・加齢にともなう心身の変化について理解することができた。          ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて理解することができた。</p>				

3 学 期	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢にともなう心身の変化について自己の課題を発見することができる。</li> <li>・自分の自治体の取り組みについて調べて発表することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年期に向けて、健康の保持増進に取り組むことができる。</li> </ul>		<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢にともなう心身の変化について自己の課題を発見することができた。</li> <li>・自分の自治体の取り組みについて調べて発表することができた。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年期に向けて、健康の保持増進に取り組むことができた。</li> </ul>	○	○	○	1
	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯においてスポーツに親しむための見方、考え方やライフスタイルに応じたスポーツのあり方を理解する。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年期のスポーツについて活動計画を立て、レポートにまとめることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かなスポーツライフの設計が立てられるようになる。</li> </ul>	<p>【豊かなスポーツライフの設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツの見方、考え方</li> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツ</li> <li>・中高年を対象としたスポーツ活動計画を考え、まとめる。</li> </ul>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯においてスポーツに親しむための見方、考え方やライフスタイルに応じたスポーツのあり方を理解することができた。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年期のスポーツについて活動計画を立て、レポートにまとめることができた。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かなスポーツライフの設計が立てられるようになった。</li> </ul>	○	○	○	4
							合計
						35	

令和8年度

教科

外国語

科目

総合英語Ⅱ

教科： 外国語 科目： 総合英語Ⅱ  
 対象学年組： 第 2 学年 7 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書： ( DISCOVER DEBATE (Language Solutions Inc.) )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】各単元に関連する単語や表現、文法について理解することができる

【思考力、判断力、表現力等】自分自身の意見や考えをわかりやすく相手に伝えることができる

【学びに向かう力、人間性等】自分自身の意見や考えをわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する

科目 総合英語Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分の意見を伝えたりや社会的な題材について話をしたりする際に使用する単語や表現、文法を理解する。	情報を整理しながら、自分の考えや意見を述べたり、伝え合ったりし、わかりやすく相手に伝える。	自分を知り、他者を理解して尊重するとともに、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして、相手にわかりやすく表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
Supporting Your Opinion 【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・英語で意見を伝える ・スピーチの構成や話し方について理解する ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。		○	○	○	8
Constructive Speech 【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・英語で意見を伝える ・コンストラクティブスピーチの構成や話し方について理解する ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。		○	○	○	8
Refutation and Rebuttal 【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・英語で意見と理由を伝える ・相手の意見に対して、論理的に反論する ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。		○	○	○	8
Interview Test				○	○	○	2

1  
学  
期



高等学校

教科 英語

科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：英語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：4 単位

対象学年組：第 1 学年 7 組～ 8 組

使用教科書：（『Heartening Ⅱ』（桐原書店））

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】各単元の文法事項を理解し、それを用いて本文の内容を読み取る。

【思考力、判断力、表現力等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えることができ、それに対する自分の考えを表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】本文の内容や自分の考えをわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習する文法や単語の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。	情報を整理しながら、自分の考えや意見を述べたり、伝え合ったりし、コミュニケーションを行う場面や目的に応じて、論理的に適切な英語で表現する。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】日本文化に関するインタビューを聞いて、話の展開や話し手の意図を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】インタビューで質問しようとしている。また、質問に答えようとしている。	指導事項 ・未来を表す表現（未来進行形/be to do）, 時制の一致の確認 ・教科書の読解 ・Story Retelling	【知識及び技能】 ・日本文化に関するインタビューを聞いて、話の展開や話し手の意図を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インタビューで質問することができる。また、質問に答えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本文化を広める外国人の活動について、情報を整理し、クラスで報告することができる。	○	○	○	12
	Lesson 2 【知識及び技能】インドのカレーがどのように日本のカレーになったかについて内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】インドのカレーがどのように日本のカレーになったかについて、情報を整理し、わかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】インドのカレーがどのように日本のカレーになったかについて、情報を整理し、わかりやすく伝えようとしている。	指導事項 ・未来完了形、前置詞の確認 ・教科書の読解 ・Story Retelling ・オンライン英会話	【知識及び技能】 ・カレーの歴史に関する記事を読んで、要点や詳細を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・オリジナルのカレーのレシピについて話し合い、意見をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・インドのカレーがどのように日本のカレーになったかについて、情報を整理し、わかりやすく伝えることができる。	○	○	○	12
	定期考査						1
	Lesson 3 【知識及び技能】コペンハーゲンの自転車政策について内容を整理し、本課で学習する表現などを用いて紹介記事を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】コペンハーゲンの自転車政策に関する記事を読んで、要点や詳細を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】自分の町で自転車を利用しやすくする方法について、自分の意見をプレゼンテーションしようとしている。	指導事項 ・助動詞+have+過去分詞、助動詞に関連する表現の確認 ・教科書の読解 ・Story Retelling ・オンライン英会話	【知識及び技能】 ・コペンハーゲンの自転車政策に関する記事を読んで、要点や詳細を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の町で自転車を利用しやすくする方法について、自分の意見をプレゼンテーションすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ほかの人の発表について質問することができる。	○	○	○	14
	Lesson 4 【知識及び技能】絵文字の解釈の差異について内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】絵文字の解釈の差異について情報を整理し、友人にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】メールのやりとりに関する会話を聞いて、話の展開や話し手の意図を理解しようとしている。	指導事項 ・さまざまな動名詞、動名詞を使った表現の確認 ・教科書の読解 ・Story Retelling ・オンライン英会話	【知識及び技能】 ・絵文字の解釈についての論証文を読んで、要点や詳細を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絵文字の解釈の差異について情報を整理し、友人にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・絵文字を使い、与えられた条件に合う英文を書くことができる。絵文字を使い、与えられた条件に合う英文を書くことができる。	○	○	○	14
	定期考査						1
2 学 期	Lesson 5 【知識及び技能】BGMがサメの印象に与える影響について内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】相手の発言を促しながら、自分の考えを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】BGMがサメの印象に与える影響について、要点や根拠を整理してわかりやすく伝えようとしている。	指導事項 ・さまざまな不定詞の確認 ・教科書の読解 ・Story Retelling ・オンライン英会話	【知識及び技能】 ・BGMがサメの印象に与える影響についての報告文を読んで、要点や詳細を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手の発言を促しながら、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・サメの保護への寄付を促すため、サメの映像で使うBGMの提案書を書くことができる。	○	○	○	14
	Lesson 6 【知識及び技能】遊びの利点について内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】遊びの利点について、要点や根拠を整理して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】ゲームの長所と短所について、相手の意見を認められた上で、自分の意見を伝えようとしている。	指導事項 ・SV00の受動態の確認 ・教科書の読解 ・Story Retelling ・オンライン英会話	【知識及び技能】 ・遊びの利点についての説明文を読んで、要点や詳細な情報を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ゲームの長所と短所について、相手の意見を認められた上で、自分の意見を伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遊びの利点について、要点や根拠を整理して伝えることができる。	○	○	○	14
定期考査						1	

期	<p>Lesson 7 【知識及び技能】 白川さんの仕事について内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 白川さんの仕事について、要点を整理してわかりやすく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際協力のボランティア活動に関して、情報や考えを詳しく伝えようとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな分詞構文、独立分詞構文／付帯状況を表す（with＋名詞＋分詞）の確認</li> <li>・教科書の読解</li> <li>・Story Retelling</li> <li>・オンライン英会話</li> <li>・</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白川さんについての記事を読んで、要点や詳細を理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力のボランティア活動に関して、情報や考えを詳しく伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白川さんの仕事について、要点を整理してわかりやすく伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	14
---	---	---	--	---	---	---	----



## 高等学校

## 教科

## 外国語

## 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： ( 『Landmark English Communication Ⅱ』 ( 啓林館 ) )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】各単元の文法事項を理解し、それを用いて本文の内容を読み取る

【思考力、判断力、表現力等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えることができる

【学びに向かう力、人間性等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的に使用する単語や表現、文法など基本的な英語を理解する。	情報を整理しながら、自分の考えや意見を述べたり、伝え合ったりし、コミュニケーションを行う場面や目的に応じて、論理的に適切な英語で表現する。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	Lesson 1 Swedish Girl's Discoveries in Japan Lesson ・教科書本文の読解 ・新出単語・文法事項の確認 ・Story-retelling	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	12
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	Lesson 1 Swedish Girl's Discoveries in Japan Lesson Lesson 2 A Message from Emperor Penguin ・教科書本文の読解 ・新出単語・文法事項の確認 ・Story-retelling	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle ・教科書本文の読解 ・新出単語・文法事項の確認 ・Story-retelling	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	12
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle Lesson 4 Seeds for the Future ・教科書本文の読解 ・新出単語・文法事項の確認 ・Story-retelling ・オンライン英会話	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle Lesson 4 Seeds for the Future ・教科書本文の読解 ・新出単語・文法事項の確認 ・Story-retelling ・オンライン英会話	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	5
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	Lesson 4 Seeds for the Future ・教科書本文の読解 ・新出単語・文法事項の確認 ・Story-retelling	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	12
<b>【知識・技能】</b> ・未来の表現、使役の構文を理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	・Make a presentation ・オンライン英会話	<b>【知識及び技能】</b> ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を流暢に読んでいる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

2 学期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現、使役の構文を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。</li> </ul>	<p>Lesson 5 Language change over time</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の読解</li> <li>・新出単語・文法事項の確認</li> <li>・Story-retelling</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。</li> <li>・本文の内容を把握にまとめ、英語で伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。</li> <li>・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現、使役の構文を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>Lesson 5 Language change over time Lesson 6 Gaudi and His Messenger</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の読解</li> <li>・新出単語・文法事項の確認</li> <li>・Story-retelling</li> <li>・オンライン英会話</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。</li> <li>・本文の内容を把握にまとめ、英語で伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。</li> <li>・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現、使役の構文を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。</li> </ul>	<p>Lesson 5 Language change over time Lesson 6 Gaudi and His Messenger</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の読解</li> <li>・新出単語・文法事項の確認</li> <li>・Story-retelling</li> <li>・オンライン英会話</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。</li> <li>・本文の内容を把握にまとめ、英語で伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現、使役の構文を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。</li> </ul>	<p>Lesson 6 Gaudi and His Messenger</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の読解</li> <li>・新出単語・文法事項の確認</li> <li>・Story-retelling</li> <li>・オンライン英会話</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。</li> <li>・本文の内容を把握にまとめ、英語で伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。</li> <li>・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
3 学期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現、使役の構文を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。</li> </ul>	<p>Lesson 7 Letters from a Battlefield</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の読解</li> <li>・新出単語・文法事項の確認</li> <li>・Story-retelling</li> <li>・オンライン英会話</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。</li> <li>・本文の内容を把握にまとめ、英語で伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。</li> <li>・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現、使役の構文を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。</li> </ul>	<p>Lesson 8 Edo: A Sustainable Society</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の読解</li> <li>・新出単語・文法事項の確認</li> <li>・Story-retelling</li> <li>・オンライン英会話</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。</li> <li>・本文の内容を把握にまとめ、英語で伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
						合計	140

令和8年度

教科

英語

科目

論理表現Ⅱ

教科：英語

科目：論理表現Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ EARTHRISE English Logic and ExpressionsⅡ Advanced（数研出版） ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】各単元の文法事項を理解し、それを用いて自分の意見を表現する。

【思考力、判断力、表現力等】自分の意見をわかりやすく相手に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】自分の意見をわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する。

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習した言語材料を単に使用するだけでなく、知識や技能を自ら選択・活用しながら実践的に用いる力を養成する。	各単元で学習した言語材料を活用し、さまざまなテーマについて主体的に思考、判断、表現する力を育成する。	主体的かつ自律的にコミュニケーションを図る態度を養成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	Part 1 Lesson 1 【知識及び技能】さまざまな主語の形を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】日本と外国の文化や習慣について論理的に表現することができる。 【学びに向かう力】日本と外国の文化や習慣について相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・さまざまな主語の形の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】さまざまな主語の形を理解し、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 2 【知識及び技能】さまざまな動詞の形を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】自分の買い物の習慣について論理的に表現することができる。 【学びに向かう力】自分の買い物の習慣について相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・さまざまな動詞の形の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】さまざまな動詞の形を理解し、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 3 【知識及び技能】名詞の働きをする表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】交流、イベントをテーマに論理的に表現することができる。 【学びに向かう力】自分の経験や考えを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・名詞の働きをする表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】名詞の働きをする表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						
	Lesson 4 【知識及び技能】形容詞の働きをする表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】医療、テクノロジーをテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】聞いたり読んだりしたことや自分の考えを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・形容詞の働きをする表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】形容詞の働きをする表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 5 【知識及び技能】副詞の働きをする表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】エンターテインメントをテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや伝えたいことを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・副詞の働きをする表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】副詞の働きをする表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	4
	Part 2 Lesson 6 【知識及び技能】感情表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】社会・生活をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや伝えたいことを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・感情を表す表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】感情を表す表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
定期考査						合計 26	

2 学 期	Lesson 7 【知識及び技能】助言・忠告、必要・義務を表す表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】環境問題をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや伝えたいことを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・助言・忠告する、必要・義務を表す表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】助言・忠告、必要・義務を表す表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	Lesson 8 【知識及び技能】勧誘・提案、依頼の表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】世界・旅行をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや伝えたいことを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・勧誘・提案・依頼する表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】勧誘・提案・依頼の表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	Lesson 9 【知識及び技能】賛成する、反対する表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】暮らし・将来をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや伝えたいことを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・賛成する、反対する表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】賛成する、反対する表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						
	Lesson 10 【知識及び技能】意見や希望を述べる表現を理解し、文を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】選挙、リーダーシップをテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや伝えたいことを相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・意見を述べる、希望を述べる表現の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】意見や希望を述べる表現を用い、文を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	Part 3 Lesson 11 【知識及び技能】パラグラフ構成を理解し、文章を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】外国語学習、語学学校の宣伝をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや必要な情報を相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・パラグラフ構成の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】パラグラフの構成を理解し、文章を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
Lesson 12 【知識及び技能】例示・列挙の展開を理解し、文章を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】発明、発見をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや必要な情報を相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・例示・列挙のパラグラフ展開の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】例示・列挙のパラグラフ展開を理解し、文章を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5	
定期考査						合計	30
3 学 期	Lesson 13 【知識及び技能】比較・対照の展開を理解し、文章を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】インターネット、職業をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや必要な情報を相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・比較・対照のパラグラフ展開の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】比較・対照のパラグラフ展開を理解し、文章を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 14 【知識及び技能】原因・結果の展開を理解し、文章を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】問題解決をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや必要な情報を相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・原因・結果のパラグラフ展開の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】原因・結果のパラグラフ展開を理解し、文章を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	Lesson 15 【知識及び技能】時間的順序・手順の展開を理解し、文章を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】偉人・歴史をテーマに論理的に表現することができる。 【学習に向かう力】自分の考えや必要な情報を相手に伝えたり、相手の質問に答えようとする。	指導事項 ・時間的順序・手順のパラグラフ展開の指導 ・教科書本文の問題読解 ・ペアワークおよびグループワークによる表現活動 ・プレゼンテーション活動	【知識及び技能】時間的順序・手順のパラグラフ展開を理解し、文章を組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】相手に伝わるように論理的に話したり書いたりすることができる。 【学習に向かう力】積極的に発信しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					合計	14